

令和6年度 自己評価・第三者評価報告書

教育理念

浄土真宗のみ教えに基づき、明るく、温かい、思いやりの心豊かな仏の子を育てることを目標とする。また、仏さまに手を合わせ、いつもありがとうございますという感謝の気持ちを持ち、日々の生活を送る。

教育目標・方針

- ・健康な体と心を養う。
- ・命を大切にすることを育てる。
- ・互いに思いやる優しい心を育む。
- ・基本的な生活習慣・態度の基礎を培う。
- ・一人ひとりの個性を伸ばし、感性を豊かに養う。
- ・少人数クラス編成によるきめ細やかな行き届いた指導を実施する。

具体的な目標

1. 保育の計画

幼稚園における教育は、園の教育理念と幼稚園教育要領の精神とが車の両輪のように位置づけられることが大切である。その教育理念を具体化していくための教育の方法は、その時代が求めているものを的確に捉えながら変えていくことも必要である。幼児の発達を見通した上で、幼児期にふさわしい生活が展開できるよう、保育の計画をたてることが重要だと考える。

2. 幼児のみとりと理解

幼児たちは一人ひとり違う人格をもった存在である。幼児を理解することは難しいが、理解しようと努力することが大切である。その姿勢が幼児に伝わり、幼児の心の安定や自信、保育士との信頼関係にもつながる。

幼児のありのままの姿を受け入れ、一人ひとりの幼児に対して温かな関心をよせて生活することにより、幼児の表面的な姿だけでなく、内面をも理解することができるようになると思う。

3. 保育と計画の評価と反省

保育の質を高めていくためには、保育終了後に自分の保育を反省し、客観的に評価することが大切である。自分が幼児の生活の実態をしっかりとらえて理解できていたか、幼児の発達の理解は適切であったか等を考えること、指導においては、ねらいや内容が適切であったか、環境の構成の仕方はどうであったか、そして幼児の活動に沿って適切な援助をすることができたかどうかを考える必要がある。

評価項目の達成及び取り組み状況

<達成度 A>

- ・感染症予防のため手洗い、うがい、消毒などの感染対策を実施する。
- ・幼児の発達を考えながら実態を把握し、見直しを行いながら行事を進めている。
- ・幼児が安全で心地よく過ごすことが出来るように環境を整えている。
- ・朝の登園時には特に視診を大切にして、幼児の体調が悪くないか確かめている。
- ・教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているよう様々な工夫をしている。
- ・教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
- ・クラスの子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりなどで知らせている。
- ・園の方針を指導計画や保育に生かそうと努力している。
- ・一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。
- ・幼児の話をよく聞き、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている。
- ・幼児をほめたり、励ましたり、目当てを持たせるような言葉かけをしている。
- ・外部の専任講師(英語・体操)の力を借りながら積極的に取り組み、十分に活動成果を感じることが出来る。

<達成度 B>

- ・ピロティとホールを十分に活用し、より充実した質の高い保育や、保護者会の活動を活発にさせることを目指す。
- ・遊具や砂場など、安全性を熟知した上で、様々な利用方法や使い方を研究し、戸外遊びを楽しむ。
- ・幼児を自分の一方的な感性で決めつけないようにしている。
- ・教育内容の質の向上や改善のための取り組みを教職員とともに行っている。
- ・禁止、命令、行動を急かしたり、自信を失わせる言葉や態度は控える。
- ・月に1度の仏参で仏さまに手を合わせ、おつとめ、うた、おはなしを聞く事で思いやりの心、感謝の気持ちを養う。

<達成度 C>

- ・教職員の質の向上のために公的な機関などが開催する研修会に参加する。
- ・異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成を考える
- ・保護者からの申し出があった場合は、その内容によって教職員全体で検討し、共通理解の上で対処する。
- ・園の行事だけではなく、それぞれの地域で行われる様々な行事にも目を向けて参加し、保育に生かす。
- ・地震などの自然災害に対する防災対策が整っている。

- ・安全管理・危機管理・防災に関するマニュアルを見直し、職員間で情報を共有する。
- ・一年間の教育の計画を立て、月間、週間の指導計画を文書として保存する。

A…十分に達成されている。 B…達成されている。

C…取り組んではいるが成果が十分ではない。

これからの課題

- ・自主的に行動し、自分たちで園生活を組み立てていけるように支える。
- ・自信を持ち、様々なことに挑戦する心を育てる。

学校関係者・保護者・評価

- ・新しい施設を十分に活用し、幼稚園生活や行事が充実している。
- ・子供が幼稚園生活を楽しんでいる。
- ・園は子どもの思いやりや優しい心を育てている。
- ・園は命を大切にする心を育てている。
- ・園は保護者の要望を受け止め、園の改善に生かそうとしている。
- ・教職員は来園時や電話などの際には親切、丁寧に対応している。
- ・行事の指導にも熱心で、見ごたえのある楽しい行事に仕上がっている。
- ・規律正しい幼稚園生活が送れている。

(出席者氏名)

| | |
|-----------|-------------|
| 中津三振興連合会長 | 花咲 典之 |
| 評議会 | 深川 千恵子 |
| 父母の会会長 | 杉之原 裕佳子 |
| 父母の会副会長 | 島田 真央 岡本 唐子 |
| 会計 | 林 好見 野田 裕紀子 |